

any

ars nova yamaguchi

vol. **49**

January-February 2005

Yamaguchi Culture Information

「エニー」

TOPICS

亜門流 愛の ファンタジー

ミュージカル 亜門版「ファンタステイックス」

クワクボリョウタ展「R/V」

久保田修治インタビュー

創作ネットワーク委員会 + Ort-d.dプロデュース「昏睡」

meets the artist シリーズ

カメラオブスクラプロジェクト展

チェンバロ連続コンサート vol.16

ミュージズたちの語らい 戸崎廣乃 & 戸崎文葉

EVENT / MUSIC / PLAY / ART / MOVIE / OTHER

中原中也記念館

企画展「河上徹太郎」

山口情報芸術センター

市民の企画「Sheep Rockets 30 Movie Show!」

第2期民放連メディアリテラシー・プロジェクト

「送り手と受け手の対話ワークショップ2004」



PHOTO: 西村 洋



演劇史上最長上演記録を 打ち立てた「ファンタスティックス」

このミュージカルは、非常に特異で余り類例のない作品である。出演者は僅か8人、舞台と装置は狭小で簡素、衣裳も普段着のようなもので間に合う。ミュージカル・ナンバーは14曲あるが歌うのは5人。踊りは1場面だけで、それも難しい技術は必要ない。

このような小型作品が、1960年5月に、ニューヨーク・マンハッタン・ヴィレッジにある小劇場サリヴァン・ストリート・プレイハウスでオープンした。座席僅か150人の小屋である。始めは客が入らず2ヶ月もたないと思われたが、口こみで次第に評判となり、あっという間に満席状態が続いて、年間のオフ・ブロードウェイ作品のベスト賞を獲得した。以来ロングランを重ねて、2002年1月まで実に42年間、17,162回という演劇史上最長の続演記録を打ち立てたのである。

トム・ジョーンズと ハーヴェイ・シュミットの 共同作品の魅力

本作は、トム・ジョーンズ(脚本・作詞)とハーヴェイ・シュミット(作曲)のコンビが、フランス劇作家エドモン・ロスタン(「シラノ・ド・ベルジュラック」で有名)の戯曲を下敷にしてミュージカル化した2幕物で、少年マットと少女

亜門流 愛の ファンタジー

昨年12月東洋人の演出家として

はじめてNYのプロブロードウェイデビューを果たした宮本亜門。

着実に実績を重ねている彼の帰国後第一弾作品となるのが、

3月に上演される亜門版「ファンタスティックス」です。

世界中で愛されている名作を03年に演出・上演し大賛辞を浴び、

自身の代表作の一つともいえるこの作品の決定版をめざした再演とあって、

初演からさらに磨きがかかり見逃せない舞台となりそうです。

今回は、本場アメリカのプロブロードウェイミュージカルに

造詣の深い評論家の瀬川昌久さんに、

ミュージカル「ファンタスティックス」の魅力を綴っていただきました。

TOPICS

ルーザの愛情の葛藤と成就、2人を見守るそれぞれの父親(ハックルビーとペロミー)の深謀遠慮の思いやりをヒューマンなタッチで画いた。加えて司会役(エル・ガヨ)が、親の頼みで3人の役者を引き連れて劇の進行に深くかかわっていく。物語りの詳細は、プログラムに記載されると思うので省略するが、恋人同士と親子間の愛情の微妙なもつれや若者の成長過程の苦労などが、実に見事な筆致で、せりふと歌に表現されている。そして挿入主題歌がみな佳曲揃いだ。特に冒頭と最後にエル・ガヨが歌う「トライトトゥリメンバー」は、自然も人生も暖かくやさしい9月と、雪の訪れを感じて静かに振り返る12月とを対比した精美な詞とメロディが人気を呼び、ブラザーズ・フォーを始め多くの歌手がレコーディングして大ヒットし、作品の吸引力となった。その他ルーザの歌う「マッチ・モア」とマットの歌う「もうすぐ雨」は、バーバラ・ストライザンドのレコードでもよく知られている。

小型ミュージカル傑作の再認識

日本でも1967年以來、度々上演されてきたが、2003年の宮本亜門氏の新鮮な手法による演出は、作品に新たな息吹を与え、今回の再演となった。最近のミュージカルには、ややもすると大型舞台と派手な装置で、華やかな歌や踊りを競う作品が多いが、「ファンタスティックス」のように、少人数の簡素な作りでも、心にしみるよう

な感動と喜びを与える作品があることをこの際は是非再認識して頂きたい。ニューヨークのプレイハウスでは、今でも2階を「ファンタスティックス」の資料館にして公開展示しているようなので、訪米の際にはお訪ねになることをおすすめしたい。

ミュージカル 亜門版 「ファンタスティックス」

エニー会員！
先行予約
1月8日

2005年3月20日(日) 13:30開場/14:00開演

場所:山口情報芸術センター スタジオA

[チケット情報] エニー会員先行予約 1月8日(土)～
プレイガイド発売 1月15日(土)～

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥5,000 エニー会員等割引 ¥4,000
学生8席 ¥2,000 ステージベンチシート ¥5,000
ステージベンチシートエニー会員等割引 ¥4,000

[演出・振付] 宮本亜門

[出演] 井上芳雄、大和田美帆、斉藤 暁、沢木 順、
山路和弘、なすび はか

[ローソンチケット] Lコード 65918

■ステージベンチシートとは・・・

スタジオAの舞台上に設けられた特設の客席です。俳優達と同じ舞台上にあるため、一般席のお客様からはずっと見られている状態になります。

開演5分前までにご着席いただき、それ以後上演中の途中入退場は出来ません!(途中でちょっとお手洗いに・・・はNGです。)

開演5分前に間に合わなかった場合は一般席にご案内いたします。

特設ベンチなので、イスに背もたれはありません。上演時間は約2時間10分(休憩あり)。ちょっと制約が多い感じがしますが、舞台に参加し、俳優達の演技をいつもより間近で観る事が出来るとてもお得な楽しいシートです。

※ステージベンチシートは山口情報芸術センター チケットカウンター(山口情報芸術センター1F)でのみの取扱いになります。



PHOTO: 宮本亜門



PHOTO: 宮本亜門

PROFILE

瀬川昌久 Segawa Masahisa

東京生まれ。戦前よりジャズやレビュウを愛好し、50年代ニューヨークで、ジャズ、ミュージカル、ジャズダンスを研究し、帰国後はコンサート企画・司会・評論活動に従事する。現在「月刊ミュージカル」編集長。作陽音楽大学「ポピュラー音楽論」講師。著書に「ジャズで讀んで 一船来音楽芸術史」(サイマル出版)、「ジャズに情熱をかけた男たち 一ブルーコープの70年」(長崎出版)がある。

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は巻末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL.083-920-6111
■エニー会員等割引/エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。詳細は巻末をご覧ください。
■エニー会員先行予約期間中の予約可能枚数は、個人:12枚、ファミリー:登録人数分、学生:1枚、団体:10枚です。
■学生8席は、高校・大学・専門学校生が対象です。

RYOTA KUWAKUBO
EXHIBITION
NEW INSTALLATION
08.JAN-21.FEB.2005



人とロボットの親和的関係：
自分の顔が映る映像モニターを乗せた、
かわいロボットたち

クワクポリョウタ展「R/V」

2005年1月8日(土)～2月21日(月)

会場:山口情報芸術センター スタジオB

10:00～20:00 入場無料

YCAMでは、クワクポリョウタの新作インスタレーションとなるクワクポリョウタ展「R/V」を開催します。この作品では、コンソールボックスの中からロボットを遠隔に操作する観客と、ロボットとの「視聴覚」が転換されます。「顔」を持ち、「言葉」を話す観客自身の分身のようなロボットたち。観客は、ロボットを通じた目や耳で作品空間の中の映像を見たり、ロボットどうして話すことができ、[人→人][人→ロボット][ロボット→ロボット]が相互に影響をあたえ合うのです。この不思議な身体感覚を実際に体験してみませんか。

クワクポリョウタは、コンピュータプログラムだけではなく、実際にうごく機械やおもちゃなどの表現の面白さ、ゲームやサブカルチャーの影響などをアートにプラスし、モノ製作(デバイス)とデジタル情報技術を結びつけて創作するユニークなアーティストとして認められています。第7回文化庁メディア芸術祭(2004)アート部門大賞受賞など、現在活躍が最も期待されている1人です。この「R/V」は、YCAMでの展示のために構想・制作された最新のインスタレーション作品となります。

PROFILE

クワクポリョウタ Kuwakubo Ryota

71年生まれ。アーティスト。筑波大学大学院修士課程デザイン研究科修了。エレクトロニクスを中心にデジタルとアナログの境界線上で作品を制作する一方、他のアーティストのサポート・エンジニアリングや、製品・おもちゃ開発なども手がける。02年に異なるストーリー同士で対戦するゲームマシン対戦型ゲーム「PLX」で、03年にはブロックを組み合わせて音楽をつくるインターフェイス「BlockJam」でアール・エレクトロニカ入選。04年には「HeavenSeed」で第7回「文化庁メディア芸術祭」アート部門大賞を受賞。また円筒形の対戦型ビデオアートゲーム「LoopScape」が「ナムジュン・バイク賞」(ドルトムント、ドイツ)にノミネート。

「YCAMめじるしマップをつくろう!」ワークショップ

2005年2月11日(金・祝) 13:00～15:00 / 12日(土) 13:00～15:30

会場:山口情報芸術センター ホワイエ

めじるしマップをつくろう!

初めて行った美術館でも、どこにホールがあり、どこに電話やトイレがあるのか、案内用の給記号を見ればすぐにわかります。それは「サイン」と呼ばれるもので、たくさんの人が生活する社会では、多くの人理解できるコミュニケーションツールとして、サインを始め様々なものがデザインされています。道路標識もそのひとつ。ワークショップではこのサインを使い、日常の中にあるデザインについて考えていきます。

デザイナー永原康史さんと一緒に、YCAM館内のサインを調査し、「YCAMめじるしマップ」を創作。最後に、自分で作った「めじるしマップ」を持って、実際のサイン作りのお話を聞きながらYCAMサインツアーを体験します。あなたも一緒にサイン探検してみませんか。いつも気にとめていないあのめじるしや記号にもいろいろな意味や役割があることに気づくかもしれません。参加者には探検キットを用意しています。また、デザインについてより深く知ってもらうため、関連イベントとしてレクチャーも開催。

[対象] 小学4年生以上～大人(原則として2日間通して参加できる方)

[募集人数] 15名(応募者多数の場合は抽選)

[参加費] ¥500

[締め切り] 2月4日(金)

[申込方法] 葉書、FAX、e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため)、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター

ワークショップ係 TEL.083-901-2222 FAX.083-901-2216

e-mail: sign@ycam.jp

永原康史 Nagahara Yasuhiro

55年、大阪生まれ。グラフィックデザイナー。IAMAS(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー)情報科学芸術大学院大学、慶應義塾大学SFCで教鞭を執るかたわら、ブックデザインをバックグラウンドとして、電子メディアのプロデュースや制作、展示会のアートディレクションなどを手掛け、メディア横断的なデザインを推進する。現在、2005年日本国際博覧会政府出展事業「サイバー日本館」アートディレクターとしても活動中。著書に、「デザイン・ウィズ・コンピュータ」(M&Nコーポレーション)、「日本語のデザイン」(美術出版社)などがある。

関連イベント

レクチャー「情報をデザインする」

2005年2月11日(金・祝) 17:00～18:30

会場:山口情報芸術センター ホワイエ 入場無料

旅時 行間

身体で感じる時間、
宇宙が生み出す時間、
生物が感じている時間…
あなたは「時間」の
さまざまについて
考えたことがありますか？

シリーズ「科学とアートの対話」

「時間旅行展」

2005年3月19日(土)～6月19日(日) (予定)

会場: 山口情報芸術センター
ホワイエ、スタジオB、ほか館内各所

【特別協力】日本科学未来館、山口大学時間学研究所

来たる3月～6月、YCAMでは、時間についての展覧会「時間旅行展」を開催します。このプロジェクトでは、宇宙、地球、生物、生命、物質など多様な形において、探求され続けている根源的なテーマ＝「時間」をさまざまな切り口でとらえ、検証し、体験することができる総合展です。

2003年春、山口大学時間学研究所の協力のもと、国立日本科学未来館(東京・お台場)で初めて「時間旅行展」が開催されました。その後、上海、メキシコなど世界を巡回。そして今回の山口展では、オリジナルコンテンツを再編集して新たなテーマを掲げ、誰もがよりわかりやすく楽しめるものに改定しています。さらに山口ならではのオリジナル企画や展示を追加した発展形で展開する予定です。

身近な時間意識から相対性世界の時間まで、さまざまな「時間」を「旅」し、発見すること。この展覧会を通して、人間がふだん計測する「標準時間」の意識から離れ、「時間」をめぐる新しい世界へ足を踏み出してみよう。それは未来のライフスタイルやイマジネーションを深めていくための大きなヒントになるかもしれません。

展示

YCAM館内をほぼフルに使用した(※スタジオAを除く)大規模な総合展示となります。ホワイエをスタート地点に、館内をナビゲーションしながら、各ブースでさまざまな時間を感じ体験。会期中いつでも、何度でも楽しんでいただける「時間旅行」です。

関連イベント

会期中は、展示に加え、山口大学時間学研究所の協力による関連イベントを定期的に展開します。様々な分野の専門家がガイドする「時間」に関するレクチャー、ワークショップ、イベント、目的別時間旅行ツアーなど、子ども向け講座、入門的ガイダンスから専門的な研究レベルまで、興味に合わせてご参加いただけます。※詳細はパンフレットなどで近日中に発表いたします。

EVENT

志賀理江子 (image) + 藤乃家舞 (sound)

「Jacques (ジャック)」(2003-2004)

開催中～2005年1月31日(月)

会場: ホワイエ (大層上スクリーン) 16:00～22:00 ※41チャンネル再生
1F公園側エントランス(プロジェクション) 10:00～22:00



YCAMホワイエ正面の巨大スクリーンに映し出される印象的な光と音。この作品をあなたはもう目にしましたか? 昨年11月のサウンド・イベント「コムニムジカ」にも登場した志賀理江子+藤乃家舞のコラボレーション作品がYCAMで公開(全国初)されています。

映像は、ロンドン在住の写真家、志賀理江子によるもの。一眼レフによる光の点滅を捉えた膨大な量の写真をスキャンニング/データ化し、多層ループ処理+デジタル編集によって創り上げた、時の積層を思わせる映像作品。サウンドは、藤乃家舞が映像に40分のライブ演奏・録音をおこない、さらにメトロノーム音などのフィールド音、各楽器の周到なサンプリングを多数追加して仕上げられました。明滅し、降り注ぐ光と音のアンビエント空間をゆっくり楽しんでください。

志賀理江子 Shiga Rieko

80年、愛知県生まれ。00年東京工芸大学写真学科中退後渡英し、04年 Chelsea College of Art and Design (ロンドン) 卒業。展覧会は、98年 個展 名古屋市政資料館、01年 個展 cafe CABIRIA (東京)、salon SUI (金沢)、03年 個展 gm media gm (大阪)、uplink gallery (東京) など。

藤乃家舞 Fujinoya Mai

音楽家。ベーシスト、楽器製作(ワイヤフォン)、作曲、編曲、映画音楽、プロデュース、リミックス、DJなど。CD「SUN/UA」、DVD「MOUSE ESCAPE」に参加。バンド「ピース・ビル(浅野忠信、岩井田道現、岡田義徳、ハヤト)」、suzuru (山口小夜子、宇川直実)メンバー、レーベル(セメタリーレコーズ)、クラブイベント「サノバラウド」シリーズ主宰。CD「サノバラウド」, 「FAR」をリリース。

「シリーズ 映画史を読み解く #2」映画上映+レクチャー
第2回上映作品「勝手に逃げる/人生」
Sauve qui peut (La Vie)

2005年1月20日(木) 19:00～

会場: 山口情報芸術センター スタジオC



【監督】ジャン＝リュック・ゴダール

【出演】イザベル・ユベール、

ジャック・デュトロン、

ナタリー・バイ、

マルグリット・デュラス ほか

(1979年/フランス・スイス/90分)

ジャン＝リュック・ゴダールが、ジガベルトフ集団による文化闘争を解散し、本格的商業主義映画に復帰した記念碑的作品として有名な本作は、日本では公開が遅れ、僅かな期間公開されただけの秘境的作品となっているものです。英題が「SLOW MOTION」であるように、ゴダール作品群の中でも例外的にスローモーションが多用され、またソニーマージュという音/映像が分離独立的な制作編集コンセプトが徹底された傑作。この後のゴダールの後期傑作群を予兆させる作品です。

【解説&レクチャー】堀家敬嗣(山口大学教育学部講師)

【料金】全席自由(税込) ¥500(先着100名) ※申込不要



民間の演劇人も公共ホールも
同じ立場にたってやっていく
時代になってきているんでしょね。

久保田さんご自身のこれまでの活動について教えてください。
劇団の旗揚げは94年で、今年で10周年になります。いま劇団員は私を含め4人。当時から芝居ができるスペースの確保には苦勞していました。そんなとき、ぼろぼろでも使えるような状態ではなかった、もと映画館を使わせてもらえることになり、絵を描いたりバンド活動している人も集まり、その場所一みどり会館を芸術活動の拠点にしたい、というのがはじまりですね。3年後にはそこでIKACHI国際舞台芸術祭を始め、現在も続いています。

「昏睡」は、山口、宮崎、北九州、鳥取の劇団同士の協同制作による作品ということですが…

遠く離れた劇団同士が一堂所集まって芝居をつくるとしたら、最低でも1か月の滞在が必要で、経費もかかります。だけど、演出家が全国を飛び回れば、1人分の旅費宿泊費ですむ。先日の「天の煙」のような公共ホールネットワーク事業を民間からたちあげようと、今回総合演出を手がける倉迫くんから声がかかり、このメンバーでできるのであればやろうと思ったんです。それにこういった制作の試みが日本で初めてで、おもしろいかなど。もう民間の演劇人も公共ホールも同じ立場にたってやっていく時代になってきているのではないかと思います。

内容を簡単にご紹介ください。

すべて2人1組の芝居で7編のオムニバスですが、実際には2人以外に他の役者も出ていたりします。別の話しの出演者が舞台上に登場するかも知れない。あとは見てのお楽しみということで。

宮崎・山口・北九州・鳥取で活躍する
俊英の演出家たちが集う新しい試み「昏睡」。
今号では、4名の演出家を代表して、
山口県柳井市で
「POP THEATER 日」を主宰する
自由下僕(じゆうしたぼく)こと
久保田修治さんにプロジェクトの概要を
語っていただきました。

エニー会員
先行予約!
1月29日

「お父さんの恋 - Family Tale -」

2005年4月2日(土) 19:00開演
3日(日) 13:00開演 ※各30分前開場
会場:山口情報芸術センター スタジオA

笑いながら切なくなる、現代の家族のおとぎばなし。

NHK大河ドラマ「新撰組」の山南敬助役が好評を博した堺雅人、連ドラひっぱりだこの星野真理、朝の連続ドラマ「ふたりっ子」の双子の姉役菊池麻衣子、そして「渡る世間は鬼ばかり」でおなじみの山口出身実力派俳優前田吟が出演。
「ウォーターボーイズ」(CX)など話題作を次々とこなす現在人気急上昇中の女性脚本家中谷まゆみと、演出力に定評のある板垣恭一が、現代社会の家族が巻き起こす悲喜こもごもを切なく、そして温かく描きだします。

[チケット情報] エニー会員先行予約 1月29日(土)～
プレイガイド発売 2月5日(土)～

[料金] 全席指定(税込)
一般 ¥5,000 エニー会員等割引 ¥4,000
学生B席 ¥2,000

[作] 中谷まゆみ

[演出] 板垣恭一

[出演] 堺雅人、星野真理、七瀬なつみ、菊池麻衣子、
池田成志、前田吟

[ローソンチケット] Lコード 66239



僕の親父は定年後、家を新築した。
上のねーちゃんは玉の輿に乗った。
下のねーちゃんは社長になった。
先輩は医者になり、僕は何にもならなかった。
そんなある日、親父が若い女に恋をした。

EVENT

創作ネットワーク委員会 + Ort-d.dプロデュース

「昏睡」

好評
発売中!

2005年2月19日(土) 19:00開演
20日(日) 14:00開演

※各30分前開場

会場:山口情報芸術センター スタジオA

兵士と捕虜、国王と女王、老夫婦、不倫のカップル…。"眠り"につく7組の男女が登場するオムニバスの二人芝居を、柳井を初め日本各地で活動する俊英演出家たちが共同で演出。数々の戯曲賞で評価された宮崎県都城市の劇作家永山智行の「創世記を背景に人類史を描く」という壮大なテーマに挑みます。これはニッポンを横断する現代演劇の冒険です。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥2,000 エニー会員等割引 ¥1,500

学生 ¥1,000(大学生以下)

[作] 永山智行(こぶく劇場/宮崎)

[演出] 倉迫康史(Ort-d.d/東京・宮崎)

自由下僕(POP THEATER Ⅸ/山口)

泊篤志(飛ぶ劇場/北九州)

森本孝文(演劇企画 夢ORES/鳥取)

[ローソンチケット] Lコード 66164

※両日とも公演終了後にアフタートークを行います。

関連イベント

レクチャー「地域をめぐる冒険」

2005年2月16日(水) 19:00～

会場:山口情報芸術センター ホワイエ 入場無料

「昏睡」各演出家と山口市で活動する演劇人により、地域における演劇活動の可能性を探るシンポジウムを行います。

国際協力50周年記念公演 桜美林大学十青年団

「もう風も吹かない」

1月22日
発売!

2005年3月12日(土) 19:00開演

13日(日) 14:00開演

※各20分前開場

会場:山口情報芸術センター スタジオA



11月に国内8カ所で公演を実現した「天の煙」が記憶に新しい演出家平田オリザの作品が山口にやってきます。架空の青年協力隊訓練所で様々な夢を抱く若者たちを描いた、寂しく切ない青春群像劇。202X年、財政が破綻した近未来の日本で、ある日、隊員の海外派遣が打ち切り。最後の派遣隊員達は互いに、人間が人間を助けることの可能性と本質についての問いかけを始めていきます。

平田氏自らが国際協力機構(JICA)で検討委員を務めた経験を題材にした本作品は、初演の2003年に朝日新聞紙上で「今年の3本」に選ばれ、話題になりました。

[チケット情報] プレイガイド発売 1月22日(土)～

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥2,000 学生 ¥1,000(大学生以下)

エニー会員等割引 ¥1,500 エニー会員学生 ¥500

[ローソンチケット] Lコード 66165

※両日とも公演終了後にアフタートークを行います。

黒澤+木下 特別上映会

¥500!

2005年2月10日(木)～14日(月)

会場:山口情報芸術センター スタジオC

山口情報芸術センターでは、毎週末の「コミュニティシネマ山口」の一環として、文化庁優秀映画鑑賞推進事業を行います。男性的でダイナミックな演出の黒澤明、女性的ともいえる叙情的な木下恵介、日本映画黄金期を飾った二人監督の代表作の連続上映です。

[料金] 一般、エニー会員、学生、全て ¥500

■木下恵介監督作品

[野菊の如き君なりき](1955年、松竹、92分)

2月10日(木) 11:00～/13日(日) 16:00～/14日(月) 11:00～

[出演] 田中晋二、有田紀子、笠智衆、田村高広、杉村春子

[女の園](1954年、松竹、137分)

2月11日(金・祝) 13:00～/19:00～/13日(日) 12:30～

[出演] 高峰秀子、久我美子、高峰三枝子、岸恵子、田村高広

■黒澤明監督作品

[天国と地獄](1963年、東宝、143分)

2005年2月10日(木) 13:00～/19:00～/12日(土) 16:00～

[出演] 三船敏郎、仲代達也、香川京子、山崎努、三橋達也、木村功

[生きる](1952年、東宝、143分)

2月12日(土) 12:30～/14日(月) 13:30～/19:00～

[出演] 志村喬、小田切みき、金子信雄、伊藤雄之助、田中春男、千秋実

親子でウォーターダンスワークショップ

2005年2月26日(土)、27日(日)

両日とも13:00～14:30/15:30～17:00 ※それぞれ一回で完結

会場:山口情報芸術センター スタジオB

親子でのびのびとダンスを体験してみませんか。

水の入ったペットボトルを使って体をゆっくり動かすことから始め、そこから生まれる自然な動きをダンスに発展させていきます。

自由な発想でのびのびとダンスしましょう。ダンス経験がなくても大丈夫!お父さんも、お母さんも、子供たちも、みんなで参加してね。

[対象] 小学3年生以上の親子10組(ダンス経験は問いません)

[参加費] 大人 ¥500 子ども ¥300

[申込] 葉書、FAX、e-mailにて住所、氏名、年齢、電話番号・e-mail等連絡先、希望日時をご記入の上、山口情報芸術センターまでお申し込みください。※2月19日(土)必着

e-mail: water@ycam.jp

[講師] 川野真子

文化庁(社)現代舞踊協会
新作ダンス公演「さーかす」

1月23日
発売!

2005年3月2日(水) 18:30開場/19:00開演

会場:山口情報芸術センター スタジオA

舞踊協会新人賞、ベストダンサー賞等を受賞した川野真子が山口・広島・佐賀において、新作ダンス公演「さーかす」を展開します。山口情報芸術センタースタジオA内にサーカステントを設置。観客と密な空間を作り出し、ダンスの魅力をお届けします。

[チケット情報] プレイガイド発売 1月23日(日)～

[料金] 全席自由(税込) ¥1,500

[演出] 中村しんじ

[テキスト作成・振付] 川野真子

[出演] 川野真子 ほか

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は巻末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL.083-920-6111

■エニー会員等割引/エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。詳細は巻末をご覧ください。

■エニー会員先行予約期間中の予約可能枚数は、個人2枚、ファミリー:登録人数分、学生1枚、団体10枚です。

■学生8席は、高校・大学・専門学校生が対象です。



山口のこのステキな路地の光を
丸ごと全部写真の中に記憶したい。
アーティストと市民の
新鮮な発見が詰まった展覧会。



meets the artist シリーズ

カメラオブスクラプロジェクト展 (仮題)

2005年2月2日(水)～3月中旬

会場: 山口情報芸術センター ホワイエ 10:00～22:00 入場無料

meets
the
artist

市民コラボレーター「ルチーダフレレンズ」とアーティスト佐藤時啓さんがともに活動する「カメラオブスクラプロジェクト」。2004年6月のアーティストレクチャーから始まり、7月の「かぶるカメラを作ろう」ワークショップ、そして10月のアートふる山口「でっかいカメラに入ってみよう」出展を通じて、山口の光をとらえるアート活動を実践してきましたが、現在、活動の締めくりとなる2月の総括的展覧会開催に向けて着々と準備を進めています。佐藤時啓さんは、これまで写真を通じて様々な表現を発表してきたアーティストです。今回のプロジェクトでは「山口の光景」というテーマを設定し、様々なカメラアイを通じて山口の風景と光を新しくとらえなおそうとしています。「山口は光に対する感受性と文化が素晴らしい」そう語る佐藤さんとともに、アーティストと市民の日常の目線から感じた山口の光をリミックスして、年間

を通したアートコラボレーションの集大成が実現しようとしています。今回の展覧会では山口の光をとらえた写真を利用し、立体作品を作る予定です。皆さん、ぜひ展覧会へ足を運んで山口の光を感じてみませんか。

■「ルチーダフレレンズ」とは

アーティストと市民が通年でコラボレーションしていく「meets the artist」シリーズの一つとして、山口情報芸術センターと山口情報芸術センター市民委員会が16年度に共同企画した「カメラオブスクラプロジェクト」にて活動しているアートボランティアの名称です。

PROFILE

佐藤時啓 Sato Tokihiro

57年、山形県生まれ。アーティスト。83年東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。光をとらえる写真作品や、光の彫刻作品等を制作。現在、東京芸術大学先端芸術表現科助教授。

EVENT

好評
発売中!

チェンバロ連続コンサート vol.16 戸崎廣乃 & 戸崎文葉デュオリサイタル ミュージズたちの語らい

2005年2月25日(金) 18:30開場/19:00開演
会場:クリエイティブ・スペース赤れんが

ソロやアンサンブルなどさまざまな演奏形式を通して、赤れんがのチェンバロの美しい響きをお楽しみいただく連続コンサート。今回はチェンバロとソプラノの織りなす美しい響きの世界を、国内外で活躍するチェンバリスト戸崎廣乃さんと、ソプラノの戸崎文葉さんを迎えてお届けします。2人のミュージズたちはどんな美しい音色を奏でるのでしょうか。演奏会を前に、戸崎廣乃さんにメッセージを寄せていただきました。

音の語らい

戸崎廣乃

音楽はどの時代も、どの国でも人々の生活に常に密着しています。また、いつの時代にも「流行歌」(ヒット・ソング)というものが存在しました。現代で言えばそれは歌謡曲や演歌かもしれません。ではバロック時代はどうだったのでしょうか? その多くはマドリガーレや民謡であり、それらは様々な作曲家によって器楽用に編曲されました。

今回のプログラムでは、16・7世紀のイギリスで「流行歌」となったリュートソングやアリアを、オリジナルとチェンバロ編曲版の両方でお聴きいただけます。いぶし銀のような音色と、旋律線を装飾ゆたかに描き出してゆくだけでなく、時には歌のように語りかけるチェンバロの魅力と、ソプラノの演奏と共にお楽しみください。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由(税込)

前売 一般 ¥3,000 学生 ¥1,500 (大学生以下)
エニー会員 ¥2,000 エニー会員学生 ¥1,000

当日 一般 ¥3,500 学生 ¥2,000 (大学生以下)

[出演] 戸崎廣乃(チェンバロ)、戸崎文葉(ソプラノ)

[曲目]

ブクステフーデ 前奏曲ト短調 BuxWV163
バード ファンタジア
ダウランド 彼女は許してくれようか
ランダル ガイヤルド「彼女は許してくれようか」(チェンバロ編)
カバニエス ガイヤルド 第1番
パーセル グラウンド ハ短調
バラの館より
組曲 第7番 二短調
J.S.バッハ カンタータ 第82番より「私は満ち足りている」
バルティータ 第4番 二長調 BWV828

[ローソンチケット] Lコード 65920

[託児] 本公演は託児サービスはありません。

ミュージズたちの語らい

戸崎廣乃 & 戸崎文葉
デュオリサイタル

クリエイティブ・スペース赤れんがの
チェンバロ

チェンバロは、16世紀、フランススコ・サビエルが大内義隆に献上したとされる「マニコルディオ」という楽器が原型となり発展したという説もあります。そこで山口市では、1997年にチェンバロを製作しました。このチェンバロは佐藤裕一氏の製作、高倉由美子氏により大内義隆とザビエルの紋章が施された、まさに山口を象徴する仕上がりとなっています。クリエイティブ・スペース赤れんがの落ち着いたスペースで、美しい姿と音色をお楽しみください。

[製作者] 佐藤裕一 [装飾] 高倉由美子
18世紀フレンチモデル
2段鍵盤、音域5オクターブ
全長2,360mm、全幅940mm

PROFILE



戸崎廣乃 Hirono Tozaki (チェンバロ)
静岡市出身。上野学園大学卒業、同大学専攻科修了。英国王立音楽大学にてソリスト・ディプロマを取得し卒業。在学中、ハーブシコード最優秀賞及び数々の賞を得る。その後ドイツ国立ケルン音楽大学にて最高荣誉賞付芸術家ディプロマを取得。00年、国家演奏家資格を取得し卒業。ソリスト及び透奏低音奏者として国内外において広く活動している。02年、ソロCD「アルマンド」をリリース。上野学園大学、名古屋芸術大学講師。



戸崎文葉 Fumiyo Tozaki (ソプラノ)
静岡市出身。幼少から静岡児童合唱団に入団し、音楽の勉強を始める。国立音楽大学楽理科卒業。音楽学を横山雅、ピアノを梅谷道、和声楽を北村昭の各氏に師事。98年よりトリニティ音楽大学(ロンドン)に留学。大学院にて声楽を、翌年修士課程にて音楽教育学を専攻。在学中、室内合唱団に所属し、ソリストとして活躍。帰国後、演奏活動の傍ら、イギリス音楽に関する講演や翻訳、執筆活動も行う。青葉会スベリオル主宰。

■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。

■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は巻末をご覧ください。 ■チケット予約電話/TEL:083-920-6111

■any会員先行予約期間中の予約可能枚数は、個人:2枚、ファミリー:登録人数分、学生:1枚、団体:10枚です。財団友の会any会員の同時入会もできます。

■エニー会員先行予約で完売の場合はプレイガイド発売はありません。

MUSIC PLAY

PICK
UP!

Cafe de DADA LIVE よしだよしこ&べすば

2005年1月27日(木) 19:30~
会場:Cafe de DADA

日本の女性シンガーのハシリ「よしだよしこ」と、山口を代表するデュオ「べすば」の仲良し3人組みを迎え、特別に歌とお酒とお料理つきの豪華なライブを開催します。新年会気分どうぞお越してください!

[料金] ¥4,500

[出演] よしだよしこ、べすば

[問い合わせ] ラグタイム TEL.083-925-6843

PICK
UP!



アジア現代演劇 コラボレーションプロジェクト 「ホテル・グランド・アジア」試演会

2005年2月13日(日) 14:00~
会場:山口情報芸術センター スタジオA

※試演会終了後アフタートークを行います。

アジア7ヶ国で活躍する新しい世代の演劇人16名が3年間に渡り、東京・バリ島など各地を舞台に展開してきた、これまでにない共同作業による創作プロジェクト。参加者相互のディスカッションとワークショップによりアイデアを立ち上げ、作品を仕上げていきます。今回、山口情報芸術センターでの約40日間の滞在創作により、集大成となる東京公演直前の試演会が行われます。

[料金] 無料・要申込

[申込方法] 葉書、FAX、e-mailにて、住所、氏名、電話番号・e-mail等連絡先、観覧希望人数をご記入の上、下記宛先までお申し込みください。
〒753-0075 山口市中園町7-7

山口情報芸術センター アジア演劇係

FAX.083-901-2216 asia@ycam.jp

[問い合わせ] 山口情報芸術センター

TEL.083-901-2222

コンサート・ライブ

会場	月/日(曜日)
山口情報芸術センター 山口市中園町7-7 ☎083-901-2222	スタジオA 1/ 10(月・祝)
クリエイティブ・スペース赤れんが 山口市中河原町5-12 ☎083-928-6666	2/ 25(金)
ニューメディアプラザ山口 山口市熊野町1-10 ☎083-921-1125	1/ 8(土)
	2/ 5(土)
ばるるプラザ山口 山口市慈太夫町1-15 ☎083-934-3333	1/ 9(日)
	1/ 15(土)・16(日)
	1/ 23(日)
	2/ 6(日)
山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766	2/ 28(月)
	1/ 10(月・祝)
Cafe de DADA 山口市湯田温泉駅前 ☎083-925-6843	1/ 27(木)
	1/ 29(土)
	2/ 8(火)

演劇・舞踊

会場	月/日(曜日)
山口情報芸術センター 山口市中園町7-7 ☎083-901-2222 http://www.ycam.jp/	スタジオA 2/ 13(日)
	2/ 19(土)・20(日)
	2/ 27(日)
ニューメディアプラザ山口 山口市熊野町1-10 ☎083-921-1125	2/ 12(土)・13(日)
	2/ 26(土)・27(日)
山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766	2/ 13(日)
	2/ 17(木)
起業シティLet's 山口市道場門前1-1-1 ☎083-901-7818	1/ 15(土)・16(日)

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
第9回「ニューイヤーバンドフェスティバル2005」	10:30～16:00	無料	山口県吹奏楽連盟山口支部 (平川中学校・前原) ☎083-924-7700
戸崎廣乃&戸崎文葉デュオリサイタル ミュージアムの語らい	19:00～	一般3000 学生1500	(財)山口市文化振興財団 ☎083-920-6111
フランスの風2005 横久木緒佳(ピアノ)・糸川麗子(ヴィオラ)デュオリサイタル	18:00～	一般2000 学生1000	シュルンマーリート ☎083-973-1616
平成16年度山口大学教育学部 音楽教育卒業・修了研究発表会	14:00～16:30	無料	山口大学教育学部音楽教育 ☎083-933-5364
山口中央高校管弦楽部ニューイヤーコンサート2005	14:00～16:00	300	山口中央高校(実近) ☎083-922-0032
第28回TYS山口県学生ピアノコンクール予選	(予定)9:30～(15日) (予定)9:00～(16日)	無料	TYSテレビ山口(企画推進部) ☎083-923-3200
第28回TYS山口県学生ピアノコンクール本選	(予定)9:00～	無料	
ジャズフェスタやまぐち	12:00～18:30	1999	山口ジャズクラブ(阿部) ☎090-4149-6248
山口芸術短期大学音楽学科卒業・修了演奏会	18:00～20:00	無料	山口芸術短期大学 ☎083-972-2880
ハッピーチルドレンコンサート5	14:00～16:00	大人3500 子ども1500	ハピチル山口(坂本) ☎090-7544-6523
よしだよしこ&べすば	19:30～	4500	ラグタイム ☎083-925-6843
ヤマザキヤマトのジャンベなナイト	19:30～	1500	
三宅伸治〜一人ばっちのロックンローラー	19:30～	3000	

掲載内容は12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
アジア現代演劇コラボレーションプロジェクト 「ホテル・グランド・アジア」試演会	14:00～	無料 要申込(P10参照)	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
創作ネットワーク+Ort-d.dプロデュース「昏睡」	19:00～(19日) 14:00～(20日)	一般2000 学生1000	
錦川流日本舞踊公演	11:30～	大人3000 子ども無料	日本舞踊会錦川流(川口) ☎090-3322-2122
劇団夜の子供計画 10周年記念公演「コバヤシ大作戦」	19:00～(12日) 13:30～(13日)	1500	劇団夜の子供計画(村田) ☎090-8063-5448
劇団遊覚 第2回公演「あ・お」	19:00～(26日) ①14:00②19:00③27日	500	劇団遊覚(東田) ☎090-1911-9730
こどもステーション・リ・フリー-2005	13:00～17:00	大人500 子ども無料	NPO法人こどもステーション山口 ☎083-925-1486
劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」	18:30～19:50	一般3000	
国吉悟 presents vol.3「ハルシオンデイズ」	18:00～(各日)	一般700 学生500	国吉悟 presents(福井) ☎090-9996-0009

掲載内容は12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

劇団夜の子供計画 +α情報

INFORMATION

劇団夜の子供計画 10周年記念公演「コバヤシ大作戦」 山口を拠点に活動をつづける「劇団夜の子供計画」が、旗揚げ10周年を記念して公演を行います。笑いあり
ちょっぴり涙ありのオムニバス。これまでの活動の集大成ともいえるこの舞台にぜひご来場ください!
[日時] 2005年2月12日(土) 19:00～/13日(日) 13:30～ ※各30分前開場 [会場] ニューメディアプラザ山口
[料金] 前売¥1,500/当日¥1,800 [演出] 小林ツトム [出演] ローリー井上、唐沢あや香、長廣聖一、廣山瑠子、三村たま、セニョール小林 ほか
[問い合わせ] 劇団夜の子供計画(村田) TEL.090-8063-5448

劇団遊覚 +α情報

INFORMATION

劇団遊覚 第2回公演「あ・お」 成功と失敗を繰り返し人は生きていく。あの日別れた人。あの日選んだ夢。夏休みの1ヶ月間が紡ぎだす。40年目の奇跡。
劇団遊覚にとって2作目となる本作品では、笑い感動のラブストーリーをお届けします。詳しくは劇団ホームページまで。 <http://www.h2.dion.ne.jp/~pakiran/>
[日時] 2005年2月26日(土) 19:00～/27日(日) ①14:00～②19:00～ ※各30分前開場 [会場] ニューメディアプラザ山口 [料金] 前売¥500/当日¥700
[原作] 吉川和夫 [脚色・演出] 池本博文 [出演] 東田一希、木村恵美、伊藤末希、清水美世(ダブルキャスト予定)、石丸拓也、東田めぐみ
[問い合わせ] 劇団遊覚(東田) TEL.090-1911-9730



第4回やまぐち学フォーラム 蔚山×山口 日韓交流現代美術展

2005年1月12日(水)～19日(水)
会場:クリエイティブ・スペース赤れんが、
菜香亭 ※休館日:赤れんが1/17、菜香亭1/18
9:00～17:00 入場無料

蔚山(ウルサン)は韓国を代表する重工業都市として知られていますが、近年は文化政策にも力をそそいでいます。この度、山口大学教育学部「やまぐち学」研究会の主催により蔚山大学との現代美術展が実現。蔚山大学と山口大学の学生および教官、山口を中心に活動するアーティストが参加し、作品を公開します。参加アーティストによるシンポジウムも開催。日韓のアート・シーンに触れることができるこの展覧会、どうぞお見逃しなく!

■関連シンポジウム

「地方都市とアート/文化」

2005年1月13日(木) 15:00～17:00
会場:クリエイティブ・スペース赤れんが(2F)

[ゲスト] 武藤勇(N-MARK主宰)

[料金] 無料

[問い合わせ] 山口大学教育学部
TEL.083-933-5300

山口県立美術館 「ピカソ展 幻のジャクリヌ・コレクション」

2005年1月6日(木)～3月13日(日)
会場:山口県立美術館
9:00～17:00(入館は16:30まで)

20世紀を代表する画家パブロ・ピカソの展覧会。彼の最後の妻・ジャクリヌが相続したコレクションから、油彩、素描、彫刻あわせて130点をご紹介します。ほとんどが日本初公開。どうぞごゆっくりお楽しみください。

[料金] 一般 ¥1,200(1,000) 学生 ¥1,000(800)
()は前売および20名以上の団体料金

[問い合わせ] 山口県立美術館
TEL.083-925-7788

読者PRESENT
抽選で5組10名様に
「ピカソ展」チケットプレゼント

ご希望の方は「anyピカソ展チケット希望」と明記し、氏名、住所、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、1月31日(消印有効)までに葉書・FAX・e-mailで山口市文化振興財団any編集部までご応募ください。

展示・展覧会

会場

山口情報芸術センター

山口市中園町7-7 ☎083-901-2222
http://www.ycam.jp/ 10:00～22:00
i-mode site http://mobile.ycam.jp 11:00～22:00
休 火曜日(祝日の場合はその翌日)
料 年末年始(～1/4)
料 無料

クリエイティブ・スペース赤れんが

山口市中河原町5-12 9:00～22:00
☎083-928-6666 (催しにより異なります。)
詳細はお問い合わせください。
休 月曜日(祝日の場合はその翌日)
料 年末年始(～1/4)

中原中也記念館

山口市湯田温泉1-11-21 9:00～17:00(入館16:30まで)
☎083-932-6430 休 月曜日(祝日の場合はその翌日)・毎月最終火曜日
料 年末年始(～1/3)
料 大人310円・大学生210円・小中高生150円(税込)
団体割引有

山口県立美術館

山口市亀山町3-1 9:00～17:00(入館16:30まで)
☎083-925-7788 休 月曜日(祝日の場合はその翌日)
http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi 年末年始(～1/3)
料 〇「ピカソ展 幻のジャクリヌ・コレクション」
一般1200・学生1000・◎
〇常設展
一般190・学生120・◎

特別展

常設展

山口県立山口図書館

山口市後河原150-1 火～金 9:00～19:00
☎083-924-2111 (子ども資料室・音楽資料室は17:00まで)
http://www.library.pref.yamaguchi.lg.jp/ 土・日 9:00～17:00
休 月曜日・祝日・月末整理日・
年末年始(～1/3)・春・秋資料点検期間

山口県立山口博物館

山口市春日町8-2 9:00～16:30(入館16:00まで)
☎083-922-0294 休 月曜日・祝日・年末年始(～1/4)
http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/ 料 大人300円・学生100円・◎
(教室・講座等については、
直接お問い合わせください。)

山口市歴史民俗資料館

山口市春日町5-1 9:00～17:00(入館16:30まで)
☎083-924-7001 休 月曜日・祝日・年末年始(～1/5)
料 大人100円・小人50円

小郡町文化資料館

吉敷郡小郡町下郷609-3 9:00～16:30
☎083-973-7071 休 月曜日・祝日・年末年始(～1/4)

山口中央郵便局

山口市中央1-1-1 9:00～19:00(平日)・9:00～17:00(土)・
☎083-922-0150 9:00～12:30(日)
(催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)
休 年末年始(～1/3)

サンフレッシュ山口

山口市湯田温泉5-5-22 9:00～22:00
☎083-933-0001 休 月曜日・年末年始(～1/3)

電遊館～エネルギー～

山口市中央2-3-1 9:00～17:00
☎083-925-5799 (催しにより異なります。詳細はお問い合わせください。)
http://www.energia.co.jp/ 休 月曜日・年末年始(～1/3)

1月	2月
開催中 志賀理江子+藤乃家舞「Jacques」 8 クワクポリョウタ展「R/V」	31 21
12 19 蔚山×山口 日韓交流現代美術展 山口大学教育学部/083-933-5300	26 30 2 6 第11回山口県立大学生生活科学部 環境デザイン学科卒業制作展 第1期1/26~30、第2期2/2~6 山口県立大学生生活科学部 環境デザイン学科(前田)/083-928-2558 16 20 山口大学教育学部美術教育専修・ 大学院教育学部研究科美術教育専修 卒業・修了制作展 山口大学教育学部美術教育 083-933-5366
開催中 文学サロンとしての酒場	23 26 企画展「河上徹太郎」 9 13 第36回山口芸術短期大学芸術文化学科卒業制作展 山口芸術短期大学(重村)/083-972-2880
6 ピカソ展 幻のジャクリーヌ・コレクション	~4/17 ~3/13
開催中 古萩の世界/現代の写真/福田勝治の銀座	30 1 萩の茶陶/植木茂/松田正平
開催中 千支 酉(とり)	30 1 図書館と出会う
5 春を待つ絵本	27 27
5 スポット展「よみがえった貴重な動物たち」	22 ~3/27 スポット展「新収蔵の歴史資料」 18 20 土星を見る会
開催中 竹畫展	30
8 企画展「第8回山頭火フォトコンテスト入賞作品展」	12 27 企画展「第10回山頭火の句毛筆展」 4 6 二科会写真部山口支部写真展 井上/083-972-2170
17 ハートホーム宮野デイサービスセンター作品展	31
4 初めての絵手紙講座生徒作品展	30 1 優奈(未成)お習字教室展示会
5 9 全日本文化刺繍作品展 くろみ会(和泉)/083-924-0225 25 30 日芸のお人形作品展 - 雛人形特集 - 日本芸術人形協会塩見幸恵支部 083-924-7124	9 13 科目等履修生作品展 山口芸術短期大学芸術文化学科 武田/083-972-2880 26 27 洋らん展示会 山口洋らん愛好会 鳥栖/083-927-8508
12 16 優美会 押し花展示会 ワールドプレスフラワー協会 山中獅子教室 18 21 私からあなたへ ~地域デビューした手作り作家の作品展~ プチぐちゅっと夢現(谷口) 083-927-7732	18 20 第10回大内文化のまちづくりフォトコンテスト 大内文化のまちづくり協議会(兼重)/083-923-2436 22 24 ちょっと素敵な手作り展 in 山口 くらふと12(中尾)/090-8608-3785

【略号一覧】 開:開館時間、休:休館日、料:入館料、問:問い合わせ先、①:18歳以下、70歳以上の方および高等学校・盲・聾・養護学校に在学する方は無料。入場料は前売り価格です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

MOVIE OTHER



ピカソ展実行委員会
+コミュニティシネマ山口
「サバイビング・ピカソ」
(125分 アメリカ)

2005年1月7日(金)～9日(日)

上映開始:

7日 ①13:00～②19:00～

8日・9日 ①13:00～②16:00～

会場:山口情報芸術センター スタジオC

山口県立美術館による「ピカソ展」(1/6～3/13)の関連企画として、映画「サバイビング・ピカソ」を山口情報芸術センターのコミュニティシネマ山口で上映。天才画家ピカソと、40歳近くも歳が離れた女性との恋を描いた作品です。恋と芸術に情熱をそそぐ60歳のピカソを、アンソニー・ホプキンスが熱演。展覧会とあわせてご鑑賞ください。

【料金】一般 ¥1,000/エニー会員・学生 ¥800
/エニー学生会員・青少年・シニア・障害者と介護の同行者1名 ¥500

※ピカソ展半券で一般をエニー会員、学生をエニー学生会員に割引。

【監督】ジェームズ・アィヴォリー

【出演】アンソニー・ホプキンス、
ナターシャ・マケルホーン、
ジュリアン・ムーアほか

【問い合わせ】山口情報芸術センター
TEL.083-901-2222

映画

会場	席数・他	
山口情報芸術センター 山口市中国町7-7 ☎083-901-2222	スタジオC	コミュニティシネマ山口
		その他
山口市立図書館 山口市中国町7-7 ☎083-901-1040	スタジオC	図書館ビデオ上映会
		こども映画会
山口スカラ座 山口市泉都町1154 ☎083-922-2113 http://www.ishop.ne.jp/scala/ 年中無休	スクリーン1 (205席)	
	スクリーン2 (130席)	
	スクリーン3 (130席)	
	スクリーン4 (130席)	
ワーナー・マイカル・シネマズ防府 防府市中央町1-3 ☎0835-22-9066 http://www.warnermycal.com/ http://www.warnermycal.com/i/ 年中無休	スクリーン1 (203席)	
	スクリーン2 (203席)	
	スクリーン3 (161席)	
	スクリーン4 (134席)	
	スクリーン5 (309席)	
	スクリーン6 (417席)	
	スクリーン7 (251席)	
ばるるプラザ山口 山口市惣太夫町1-15 ☎083-934-3333		
山口県教育会館 山口市大手町2-18 ☎083-922-5766		
講演・その他		
会場	月/日(曜日)	
山口情報芸術センター 山口市中国町7-7 ☎083-901-2222 http://www.ycam.jp/	スタジオB	2/26(土)・27(日)
	スタジオC	1/30(日)
	ホワイエ ほか	1/7(金)・8(土)
		2/11(金・祝)・12(土)
	2/16(水)	
山口県立美術館 山口市亀山町3-1 ☎083-925-7788 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi	1/22(土)	
	1/29(土)	
	2/5(土)	
	2/5(土)・19(土)	
ニューメディアプラザ山口 山口市熊野町1-10 ☎083-921-1125		
	1/30(日)	

1月		2月	
7 9 ピカソ展実行委員会共同上映「サバイビング・ピカソ」	21 23「恋の門」	10 14 黒澤+木下 特別上映 「野菊の如き君なりき」「女の園」 「天国と地獄」「生きる」	18 20 「ニュースの天才」 25 27 「やさしい嘘」
14 16「珈琲時光」	20 シリーズ映画を読み解く#2 「勝手に逃げる/人生」	5 6 市民の企画 「Sheep Rockets 30 Movie Show!」	
	17「殺られる」 24「狼/ウルフ」	7「枯葉/夜の門」	21 28 「グレート・ノース/ 北極圏に生きる」 「スリ」
8 「ピノキオの冒険」	15 「王子とこじき」	22 「マッチ売りの少女」	12 「アリババと四十人の盗賊」
9 「十五少年漂流記」	16 「金色のがちよう」	23 「長くつをはいた猫」	19 「シンデレラ」
			26 「アラジンと まほうのランプ」
			27 「しらゆき姫」
上映中 「エイリアンvsプレデター」「Mr.インクレディブル」「マイ・ボディーガード」「僕の彼女を紹介します」			~未定
	15 「北の零年」「オペラ座の怪人」「ネバーランド」「オーシャンズ12」		~未定
1 「カンフーハッスル」(吹き替え版)			~未定
上映中 「ゴジラファイナル」「レディ・ジョーカー」	14	29 「オペラ座の怪人」	~3月上旬
上映中 「ボーラー・エクスプレス」「僕の彼女を紹介します」	1月中旬	22 「オーシャンズ12」	~3月上旬
上映中 「ターミナル」「エイリアンVSプレデター」「犬夜叉/とっとこハム太郎」	1月下旬	2月上旬 「ボーンズプレマシー」	~未定
上映中 「ハウルの動く城」「Mr.インクレディブル」			~未定
	15 「東京タワー」	4 5 「着信アリ2」	~3/3
1 「カンフーハッスル」(吹き替え版)			~2月中旬
	15 「北の零年」		~3月上旬
上映中 「ゴジラ FINALWARS」	14		~未定
	15 「ハウルの動く城」		~未定
	21 22 西京シネクラブ1月例会「ビハインド・ザ・サン」 ☎西京シネクラブ/083-928-2688	15 西京シネクラブ上映会 「草の乱」	18 19 西京シネクラブ2月例会 「未定」

掲載内容は12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。
 (略号一覧) ☎:問い合わせ先 料金につきましては、各連絡先へお問い合わせください。

催物名	時間	入場料(円)	問い合わせ
親子でウォーターダンスワークショップ	P7参照	大人500・子ども300	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
こども情報局成果発表会/講演会	14:00~16:30	500	山口情報芸術センター-市民委員会事務局(郡川) ☎083-901-2222
第2期民放連メディアリテラシー・プロジェクト 「送り手と受け手の対話ワークショップ2004」	13:00~19:30(7日) 10:00~16:30(8日)	無料・要申込	東京大学大学院 情報学環メル・プロジェクト(水越研究室) ☎03-5841-5949
「YCAMめじるしマップをつくろう!」ワークショップ	13:00~15:00(11日) 13:00~15:30(12日)	500・要申込	山口情報芸術センター ☎083-901-2222
「昏睡」関連シンポジウム「地域をめぐる冒険」	19:00~	無料	
講演会「恋愛とピカソ」講師:木島俊介 (共立女子大学教授/群馬県立館林美術館館長)	14:00~	無料	
ワークショップ「シアワセのコパコをつくろう」 講師:濱野由美(フェルト作家)	10:00~16:00	材料費・要申込	山口県立美術館 ☎083-925-7788
講演会「ピカソの芸術-キーワードは、*みんなちがってみんないい*-」 講師:森川紘一郎(周南市美術館館長)	14:00~	無料	
ワークショップ「親子で楽しむピカソ展」	10:30~11:30(各日)	子どものみ無料・要申込	
第10回山口県ふるさとCM大賞	13:30~	無料	TYSテレビ山口(制作部 中山) ☎083-923-6122

掲載内容は12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売り価格(税込)です。当日は料金が異なる場合がありますので、ご確認ください。

INFORMATION



【問い合わせ】
中原中也記念館
TEL.083-932-6430
<http://www.chuyakan.jp/>

中原中也記念館

企画展「河上徹太郎」

2005年1月26日(水)～4月17日(日) 9:00～17:00
(最終入館は16:30まで)
会場:中原中也記念館

中原中也の良き理解者であった河上徹太郎とは、いったいどのような批評家だったのでしょうか。彼は、学生の中からピアノを弾き音楽評論から出発した点で旧友・小林秀雄とも異なるタイプの批評家であり、郷里に対する愛着も強く岩国に関わるエッセイを多数書いて岩国市名誉市民にも選ばれました。今回の展示では、音楽評論家であり、近代批評の開拓者であり、そしてまた山口県ゆかりの愛郷者でもあった河上徹太郎の多彩な評論活動とその功績についてご紹介いたします。



No.1



No.2



No.3



No.4

【問い合わせ】
山口情報芸術センター
市民委員会事務局
TEL.083-901-2222
(担当:砂川)

山口情報芸術センター

市民の企画(第3弾)

「Sheep Rockets 30 Movie Show!」

2005年2月5日(土) ①11:00～②15:00～
6日(日) ①11:00～②15:00～

※両日とも、午後の回(15:00～)終了後に監督4人とのトーク・ショーを行います。
会場:山口情報芸術センター スタジオC

「Sheep Rockets 30」は、京都芸術短期大学(現・京都造形芸術大学)映像コースの卒業生、新垣亘洋、児玉一成、伊藤比咲子の3人で結成され、後に浜田俊輔をメンバーに加えた映像制作ユニット。個々の作品制作をさまざまな面でお互いにサポートしながら年に1本のペースで新作を制作し、上映会を行っています。

- No.1 新垣亘洋「理容師」(10分)
- No.2 伊藤比咲子「てげてげ」(21分)
- No.3 浜田俊輔「旅色」(22分)
- No.4 児玉一成「虚ろな水 - Water of the MIYABE clan. -」(35分)

【料金】無料

第2期民放連メディアリテラシー・プロジェクト

「送り手と受け手の対話 ワークショップ2004」

2005年1月7日(金) 13:00～19:30
8日(土) 10:00～16:30 (2日間セット)

会場:山口情報芸術センター ホワイエ・多目的室

ワークショップの参加者は、民放局員・教育関係者・以前番組制作ワークショップに参加したことのある子供・募集で集まった市民たち。いつもお互い放送の受け手と送り手という立場に立っている参加者達が、このワークショップでは共通の基盤に立ち、同じ状況を共有する仲間として現代のテレビについて共に考え、対話し、表現することへとつながっていきます。

【参加費】無料

【対象】15才以上 5名程度

【問い合わせ】
東京大学大学院情報学環
メル・プロジェクト
umebachi@mell.jp
TEL&FAX. 03-5841-5949
(水越研究室)

情報を募集しています

情報誌「any」では山口市内で行われる展覧会、公演等様々なジャンルの情報を募集しています。
【送付先】(財)山口市文化振興財団 any information 係
TEL、FAX、またはe-mail (anyinfo@yctcp.or.jp) でお申し込みください。(締切は奇数月の25日まで)

財団主催・共催公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団 チケット予約電話

TEL.083-920-6111

(受付時間 10:00～19:00) ※火曜休館(祝日の場合は翌日)

【取り扱いプレイガイド】 (山口市)山口市市民会館、山口情報芸術センター、クリエイティブ・スペース赤れんが (防府市)アスビラート (阿知須町)サンパークあじす (美南市)美南市文化会館、近鉄松下百貨店
【予約地】宇部市協賛 (その他)ローソンチケット 他
※公演により、取り扱いプレイガイドが異なります。
詳しくは各予約電話へお問い合わせください。

■友の会「any」(エニー)会員の方

会員先行予約日から上記予約電話および山口情報芸術センターチケットカウンターにて先行予約ができます。

■一般のお客様

プレイガイド発売日から上記予約電話、山口情報芸術センターチケットカウンター、上記のプレイガイドで購入できます。

■A席割引について(対象は山口情報芸術センター公演のみ)

エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。山口情報芸術センター、山口市市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。エニー会員証、年齢の分かるもの、障害者手帳等をご提示ください。

託児サービスのご案内

山口市文化振興財団では、託児サービスを行っております。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

■公演開催時 ※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

【対象】 0才以上

【料金】 お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

【託児時間】 開演の30分前から終演後30分まで

【申込方法】 開催1週間前までに山口市文化振興財団託児係へお電話でお申し込みください。

■山口情報芸術センター キッズスペース

【対象】 1才以上

【料金】 1人につき30分150円

【託児時間】 13:00～17:00(山口市立図書館休館日を除く) 1回2時間まで

【申込方法】 当日山口情報芸術センター1F事務局にお申し込みください。
満員の際は順番制となります。

any(エニー)会員募集

当財団友の会「any」では会員を募集しています。山口市市民会館や山口情報芸術センターなどで行う公演の優先予約や割引など、いろいろなサービスが受けられます。ぜひ、ご入会ください。

【年会費】 学生会員1,000円、個人会員3,000円、家族会員5,000円、団体会員20,000円

【会員期間】 入会日より1年間

【会員特典】 チケットの先行予約、チケットの割引購入、情報誌の無料定期購読、公演・上映会等無料招待、山口情報芸術センター内レストランでのご優待、「コミュニティシネマ」チケットプレゼント、提携店での割引など

【お申し込み】 詳しい案内を送付いたします。チケット購入時の同時入会も可能です。
TEL、FAX、またはe-mail(any@ycfcp.or.jp)でお問い合わせください。

※山口市文化振興財団のホームページオープンにともない、メールアドレスが変更になりますのでご注意ください。



【お問い合わせ】

財団 山口市文化振興財団
法人 Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2216

zaidan-info@ycfcp.or.jp http://www.ycfcp.or.jp



財団
法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

ファンタステックス